



鉄条網のなかの中華料理店

市川 哲 (いちかわ てつ)

本館機関研究員

ンドネシアやオーストラリアからもたらされた高機能のものであり、ときにはライフル、マシンガンが使われることさえある。犯罪は年々凶悪化傾向にあり、道路の樹木を切り倒し、立ち往生した車を取り囲んで襲撃したり、白昼堂々銃や刃物で武装して店舗へ押し入るという事件も頻発している。

ポートモレスビーで生活する中国系住民はしばしばラスカルのターゲットになっている。ラスカルは街中を歩いているひとを襲うだけでなく、中国系住民の住宅や商店、レストランなどにも押し入り、強盗を働くことがある。またポートモレスビーでは夕方五時を過ぎると、たんに通りが少なくなる。これは朝九時から夕方五時までといふ八時間労働のラスカルスタイルが行き渡っていることがわかるが、薄暗くなるとラスカルの活動が活発になるため、それを恐れて人通りが少なくなってしまうのである。つまり夕方から夜にかけては外を出歩くことができない。そのため、あえて夕方や夜間に外出する場合、車で移動せざるをえない。しかも、ラスカルの襲撃を避けるためには治安対策の整ったレストランを選ばねばならない。町でこうした犯罪をおこなう者たちのことを、人ひとはラスカルとよんでいる。ラスカルには単独犯から集団犯まで含まれる。また窃盗から武器を使つた強盗まで、犯罪の程度もさまざまである。武器も、ナイフや棍棒から銃まで幅広い。なかでも銃は手製のものだけでなく、イフスタイルが行き渡っていることもあるが、薄暗くなるとラスカルの活動が活発になるため、それを恐れて人通りが少なくなるてしまうのである。つまり夕方から夜にかけては外を出歩くことができない。そのため、あえて夕方や夜間に外出する場合、車で移動せざるをえない。しかも、ラスカルの襲撃を避けるためには治安対策の整ったレストランを選ばねばならない。町でこうした犯罪をおこなう者たちのことを、人ひとはラスカルとよんでいる。ラスカルには単独犯から集団犯まで含まれる。また窃盗から武器を使つた強盗まで、犯罪の程度もさまざまである。武器も、ナイフや棍棒から銃まで幅広い。なかでも銃は手製のものだけでなく、イフスタイルが行き渡っていることもあるが、薄暗くなるとラスカルの活動が活発になるため、それを恐れて人通りが少なくなるてしまうのである。

だが中国系住民たちも、一方的にラスカルにやられてばかりいるわけではない。ボートモレスビーのある中国系企業家は、レストラン、スーパー、マーケット、酒屋、事務所という四つの建物を、真ん中の空間を囲むようにしてロの字型に建て、出入り口を二つだけ作り、建物に囲まれた部分を駐車場としている。そして、もしラスカルに襲撃されそうな場合は、ふたつの入り口を閉じ、建物群の中に立てるようしている。他にも、治安の悪さから夜間営業をするレストランが少ないのを逆手に取り、厳重な警備をすることによって夜遅くまで営業をし、ハイリスク・ハイリターンのビジネスをする中国系住民も存在する。さうした色々な思いによつて、これからも経営されてゆくのだろう。

ポートモレスビーの悪化する治安

バブアニューギニアでは、自分たちの食事は自分たちで料理するものという観念が強い。そのため、首都ポートモレスビーでも土着の人が経営するレストランは意外に少ない。街中にはカイバーとよばれる簡易食堂を兼ねた弁当屋があるが、カイバーには、店のなかで座つて落ち着いて食事をするといった雰囲気はない。ゆっくりと食事を楽しむ場といえば、高級ホテル内部のレストランか、街中に点在

する中華料理店ということになる。

この国の中華料理店は、他の国の中華料理店と一見してちがつている。それは嚴重な治安対策である。とりわけポートモレスビーの治安は有名であり、殺人、強盗、暴行、器物破損などの犯罪が後を絶たない。町でこうした犯罪をおこなう者たちのことを、人ひとはラスカルとよんでいる。ラスカルには単独犯から集団犯まで含まれる。また窃盗から武器を使つた強盗まで、犯罪の程度もさまざまである。武器も、ナイフや棍棒から銃まで幅広い。なかでも銃は手製のものだけでなく、イフスタイルが行き渡っていることもあるが、薄暗くなるとラスカルの活動が活発になるため、それを恐れて人通りが少なくなるてしまうのである。つまり夕方から夜にかけては外を出歩くことができない。そのため、あえて夕方や夜間に外出する場合、車で移動せざるをえない。しかも、ラスカルの襲撃を避けるためには治安対策の整ったレストランを選ばねばならない。

ラスカルとの戦い

当然バブアニューギニアの中華料理店は、車での来店を前提としている。さらにレストランも高いフェンスや鉄条網で周囲が囲まれていて、銃を構えるなどして守られている。車での来店を前提としている。さらにレストランも高いフェンスや鉄条網で周囲が囲まれていて、銃を構えるなどして守られている。

入っていない。娯楽の少ないこの国では、外食産業の需要は意外にあるのだ」と述べた。また、マレーシア出身のある華人は、「ここでの仕事は朝九時から夕方五時までの間で、自分の時間がたっぷりとれるし、お金を使う場所もないで、時金をするはいい環境だ」と聞かせてくれた。バブア二

ユーニョ生まれの中国系の男性などは、「いろいろ問題があつても、自分の生まられた国だし愛着もある。だから、これからもここに生活するだろ」と希望を託している。鉄条網のなかの中華料理店は、こうした色々な思いによつて、これからも経営されてゆくのだろう。

ラスカルを追い払つた男性は田舎町だったため、周りの人びとが助けてくれたが、大都市ではとばっちりを恐れる人などがほとんどであり、他人の手助けを期待することはできない。だからふつう、襲われたら金品を根こそぎ奪われる。最悪の場合には殺害されてしまう。そのため、せっかくレストランを開業しても、治安の悪さや商売不振のため、他の人に店舗を転売して故郷に戻つたり、オーストラリアやニュージーランドに再移住してしまう人びともいる。鉄条網に囲まれた店舗で、番犬とガードマンに護衛されるなかで商売をするある中国系の男性は、「まるで監獄のなかでビジネスをしてい

まるで監獄内のビジネス



ラスカルを追い払つた男性は田舎町だったため、周りの人びとが助けてくれたが、大都市ではとばっちりを恐れる人などがほとんどであり、他人の手助けを期待することはできない。だからふつう、襲われたら金品を根こそぎ奪われる。最悪の場合には殺害されてしまう。そのため、せっかくレストランを開業しても、治安の悪さや商売不振のため、他の人に店舗を転売して故郷に戻つたり、オーストラリアやニュージーランドに再移住してしまう人びともいる。鉄条網に囲まれた店舗で、番犬とガードマンに護衛されるなかで商売をするある中国系の男性は、「まるで監獄のなかでビジネスをしてい